



少し前まで半袖だったのがウソのような寒さになったり、暖かかったり…12月は子ども会もあるので健康に気を付けながら過ごしていきたいですね。

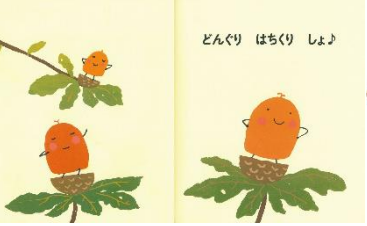
お部屋ではこの頃、遊んでいる時などにわらべうたを口ずさむ様子が見られています。お家でも歌ってる！という声が聞かれていて、楽しんでわらべうたをしてくれているんだなあ実感しています😊今回はそんな子どもたちと普段しているわらべうた、文学あそびの紹介をしたいと思います！

### わらべうたとは・・・

イントネーションが自然で子どもの音域に合ったメロディーである為、子どもたちがリズムを取りやすく歌いやすいものになっています。また私たち大人が慣れ親しんでいるわらべうたも数多く歌いつがれているので大人も子どもも楽しめるものになっています。実は空間認知、平衡感覚など体幹につながる動きもたくさんあるのです。そしてルールを守ったり、友だちを意識するなど社会性の発達や自分で考えられるようになる言語能力の発達など遊びの中でたくさんのが経験できるので日々楽しみながら取り入れています。

♪チンチロリン チンチロリン かたさせすそさせ  
さむさが くるぞ チンチロリン チンチロリン

鬼が輪の真ん中で目を閉じ周りの子どもたちが鈴やベルを音がならないよう回していきます。うたの最後に鈴やベルを持っている子が鳴らします。鬼は聴こえてくる方向を指で指します。鬼になりたくてベルを回さない子、途中で音を鳴らしたくなっちゃう子がいたりしながらも楽しんでいます(笑)



♪どんぐりころちゃん あたまわとんがって  
おしりはべっちゃんこ どんぐりはちくりしょ

手の中にどんぐりやビー玉を持って振りながら歌います。

「どんぐりはちくりしょ」で手を二つに分け、どちらかにどんぐりやビー玉が入っている状態にします。そして「どっちに入っているでしょう」とどんぐりやビー玉がどちらの手に入っているのか当てる遊びです。うみ組さんはこのうたが大好きでどんぐりを見つけると大人とやったり、子ども同士でもうたいながら遊んでいます😊

### 文学とは…

詩や積み重ね話、素話などを文学と呼んでいます。同じ言葉を繰り返したり、言い回しなどをリズムよく楽しむことで言葉の面白さを知ったり、理解力、記憶力がついていきます。また素話では絵がない中で話を聴くことで集中力や話を聴く力もついていきます。そしてそこから自分でイメージしたり、創造したりする力にもつながっていくので、保育園では絵本だけでなく様々なお話しや詩を楽しんでいます。

覚えるのが早い子どもたちは数回で口ずさんでみたり、全部言えるようになると「出来るようになったよ！みてて～」と披露してくれたりします😊お集まりでは文学のカードを持ってきてただけで自然と子どもたちから声が聞こえるようになっていきます。子どもたちの記憶力の良さに驚かされています💎

☆ひとつどんぐり

ひとつ どんぐり ひとのかお  
ふだつ どんぐり ふぐのかお  
みつつ どんぐり みかのかお  
よつつ どんぐり よこむきがお  
いつつ どんぐり いものかお  
むつつ どんぐり むしのかお  
やつつ どんぐり やまのかお  
ここのつどんぐり こぞうのかお  
とうで とっても とんまなかお

ひとつどんぐりでは“とんまなかお”をどんぐりの絵カードをまねしてみたり、自分でイメージした顔をしてみたりしています。



これはジャックのつくったうちではカードが目につくとこれはジャックの…と言い始めたり、友だちと声を合わせて最後まで言うことを楽しんでいます。「出来るようになったよ！」と聞かせてくれる子もいます😊

☆これはジャックのつくったうち

これはジャックのつくったうち  
これはジャックのつくったうちにあった麦  
これはジャックのつくったうちにあった麦を食べたねずみ  
これはジャックのつくったうちにあった麦を食べたねずみをとったねこ  
これはジャックのつくったうちにあった麦を食べたねずみをとったねこにかみついたいぬ  
これはジャックのつくったうちにあった麦を食べたねずみをとったねこにかみついたいぬを曲がった角で投げ飛ばしたうし  
これはジャックのつくったうちにあった麦を食べたねずみをとったねこにかみついたいぬを曲がった角で投げ飛ばしたうしから絞ったミルクをこぼした女の人



12月21日には子ども会があります。当日は緊張してしまうと思いますが、暖かく見守って頂けると嬉しいです。うみ組みんなで頑張ります！

12月中、1月と保育参観もしていますので是非、子どもたちの姿を見に来ていただけたらと思います♪